

203 日本の漫画とアニメの力（2023 年 10 月 17 日）

パリ造幣局博物館のブティックには、様々な記念コインやメダルが売られています。この中に、日本の漫画「Naruto-ナルト-」（ナルト）の登場人物をデザインしたメダルを見つけました（写真右）。日本にもアニメのキャラクターをデザインしたコインが発行されたことはありますが、記念コインやメダルと言え、歴史的なイベントを記念して作られることが多いと思っていましたので、アニメのキャラクターをデザインしたコインやメダルは新鮮に見えました。ナルトの近くには、ハリー・ポッターやアステリックス（1959 年に誕生したフランスのバンド・デシネで、世界各国で翻訳出版されたシリーズ）のコインやメダルもあり、パリ造幣局は様々なキャラクターのコインやメダルを製造していることを知りました。



これらの三つのシリーズを見ながら、小説や映画が世界的に大ヒットしたハリー・ポッターとフランス人なら誰でも知っているアステリックスに並んで、ナルトがコインやメダルのデザインに選ばれたことに驚きました。ナルトのコインとメダルは、2002 年にフランス語版が発売され、また日本でアニメ化されてから 20 年になるのを記念して、2023 年に発売されました。パリ造幣局のウェブサイトによると、忍者が描かれた初めてのコインやメダルで、「ナルトとその仲間たちをコインやメダルに合うように彫ることは、簡単ではありませんでした。まずは、原作の雰囲気や特徴に合うものを作るために、岸本斉史氏の世界に入り込むことが必要でした。パリ造幣局に原作のファンがいなかったわけではありませぬので、彫刻師や職人にとって有名な忍者のために自分たちの腕を発揮することは、この上ないチャンスでした。」とするメダル彫刻師のメッセージが掲載されています。ナルトは、日本人が想像する以上に外国で高い人気を誇っていることが分かります。

以前にラ・ポスト（フランス郵政公社）が発行した切手の中で、[日本に関連するデザインの切手](#)を紹介しました。その中では紹介しなかったのですが、実はナルトは、ラ・ポストが発行した切手にもなっています。この切手は、2022 年に発売されました（写真右）。日本で原作が発行されたのは 1999 年から 2014 年まで、フランスで単行本が発行されたのは 2002 年から 2016 年までです。完結したシリーズであるにもかかわらず、報道によれば、2020 年に最も売れた漫画はナルトで、120 万部もの売り上げがあったそうです。この背景には、新型コロナウイルスの



パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

感染拡大によって自宅で過ごす時間が増えて漫画の売り上げが伸びたというだけではなく、ナルトが、シリーズが完結した後も読者を惹きつけていると言えます。今は、ファンは、ナルトの世界を引き継ぐ「BORUTO-ボルト- -NARUTO NEXT GENERATIONS-」で、ナルトの息子であるボルトの冒険を読むことができます。

もう一つ、日本生まれのアニメで、フランスで絶大な人気を誇る作品が、「ゴールドラック」（日本でのタイトルは「UFO ロボ グレンダイザー」）です。ゴールドラックも、[日仏で共同発行されたポストのデザインの切手](#)と同じ 2021 年に切手になりました（写真右下）。永井豪原作のこの作品は、1978 年にフランスに紹介されて人気を集めました。2021 年には、[パリ日本文化会館](#)で「ゴールドラック」展が開催されるとファンが詰めかけ、約 1 か月半の会期中に 2 万人以上の来場者が訪れました。ゴールドラックを見て育った世代が大人になって、親子二代でゴールドラックのファンという人も少なくないと言います。この展覧会が大成功したことを知って、フランスにも日本のアニメを見て育った人が多くいることを知りました。



ナルトもゴールドラックも、原作は完結してもファンを魅了し続け、新たなファンを増やしているという共通点があります。日本の漫画やアニメが、パリ造幣局やラ・ポストもデザインに採用してしまうほどフランス文化に影響を与えていることに改めて驚きました。